

令和5年3月24日

重環オペレーション株式会社

いわき市北部清掃センターにおける排ガス測定値の不適切なデータの書き換えについて

重環オペレーション株式会社（代表取締役社長 永尾卓二、以下「当社」）がいわき市から運転管理業務を受託しております北部清掃センターにおいて、市に提出している日報の排ガス中のNOx濃度の時間単位の測定値を市が管理目標値としている50ppmを超過していないようデータの書き換えをしていたことが判明致しました。

【書き換えたデータ】

1号炉設備日報	窒素酸化物（NOx）※の測定値
・2020年10月25日（日）	19時 51.5ppm → 49.5ppm
・2022年10月23日（日）	20時 50.9ppm → 47.9ppm
〃	21時 57.1ppm → 49.3ppm
・2022年10月30日（日）	19時 50.3ppm → 49.9ppm

※法令の排出基準：250ppm

【書き換えた理由】

- ・2022年10月23日については、熟練の運転責任者Aが2時間連続で管理目標値である50ppmを超過したため、社内会議等でその事実が公開されることを嫌い、測定値を変更してしまいました。
- ・2022年10月30日については、運転中に50ppmを超え始めたことから、運転責任者BがAに応援を求めると改善に至らず、測定値を変更してしまいました。
- ・2020年10月25日については、データ書き換えの実施者が特定できませんでしたが、社内におけるデータ書き換えの指示は確認できませんでした。

ごみの組成や投入量により、窒素酸化物濃度等の管理目標値を一時的に超過する事は通常に運転する中での変動として起こりうる事であり、その場合、管理目標値以下に落ち着かせる様、運転をしております。従って、時間単位の管理目標値の超過そのものは契約違反ではありませんが、管理目標値を超過したという事実を、そのまま報告すべきところ、データの書き換えを行ったことは、極めて不適切な行為であります。

再発防止対策として、データの書き換えが出来ないような運用に即時変更を実施し、更に同様の操作ができないようにシステムの改修を行う一方、従業員のコンプライアンス意識の向上や運転技術の向上に関する再教育を集中的に実施することと致しました。

このような事態を生じ、地域住民の皆様をはじめ、関係機関並びに取引先各位へ多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしますことについて、お詫び申し上げますとともに、改善及び再発防止に向けた措置を徹底し、社員一丸となって信頼回復に努めてまいります。

以上